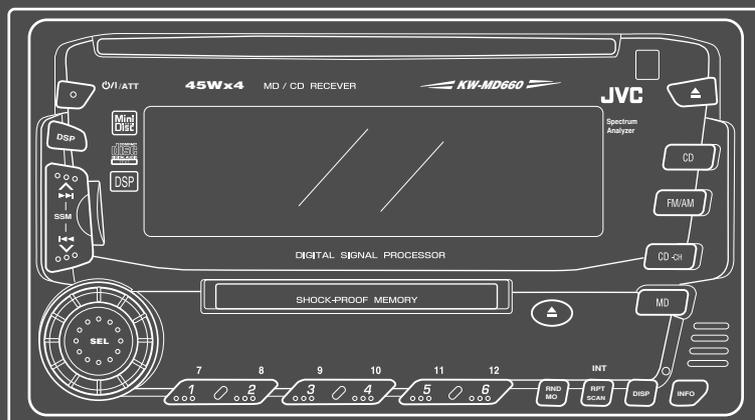


取扱説明書

JVC

KW-MD660

MD/CDレシーバー



— お買い上げありがとうございます —

ご使用の前にこの「取扱説明書」と「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

目次

● 主な特長	2
● 安全上のご注意	3～7
● 各部の名前と働き	8～13
● リモコンの使いかた	14～15
● 時計の合わせかた	16～17
● 音量・音質の調節	18～19
● DSPの使いかた	20～21
● スペアナとして使うには	22
● 表示窓のモードを変えるには	23
● MDを聞く	24～27
● CDを聞く	28～30
● ラジオを聞く	31～34
● CDテキストについて	34
● CDチェンジャーのCDを聞く	35～37
● 他の機器の音を聞く	38～39
● MD/CDの盗難防止について	39
● テレホンミュートについて	40
● 表示窓の明るさ／コントラストを変える	41
● CDの名前や放送局名などを表示させる	42～49
● 文字配列表	49
● 正しくお使いいただくために	50
● 保証書とアフターサービス	51
● こんなときは	52～53
● 主な仕様	54～55
● お手入れ	裏表紙

主な特長

- 2 DINサイズのMD/CDレシーバー
 - ・ダイレクト選曲
 - ・ランダム演奏/リピート演奏/イントロスキャン
 - ・8センチCD対応(アダプターなしでダイレクトイン)
 - ・CDテキスト対応
 - ・ショックプルーフメモリー(音飛びガードメモリー)：MD
- **ダイレクトソース(音源)切換**
 - ・ラジオやMD/CD、CDチェンジャーなどの演奏がワンタッチでスタート(電源を入れることも可能)
- **45W×4ハイパワーアンプ内蔵**
ステレオ出力
- **SSM搭載チューナー**
 - ・SSMによる放送局のメモリーが可能
 - ・24局プリセット(FM⇒6×2局、AM⇒6×2局)
インフォメーション
 - ・交通情報が聞けるINFOボタン
- **チェンジャーコントロール機能**
 - ・12枚CDチェンジャー(CDテキスト対応のCH-X1200など)
- **リアルなライブ音場を再現する7モードDSP(デジタル・シグナル・プロセッサー)搭載**
- **テレホンミュート機能**
 - ・別売りのハンズフリーシステム：TF-HF5 M使用
- **放送局名やディスク名・曲名を表示(カナ・英数字)**
- **マルチ電子コントロール(音量・音質)**
 - ・DSP LINK機能
リンク
- **ライン出力端子×2系統(RCAピン)**
- **リモコン付属(RM-RK36)**

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



感電



指をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



水ぬれ禁止



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、障害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

警告

■本機はDC12V マイナスアース車専用です。



・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。

■配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してください。



・ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

■本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取付けしないでください。



・交通事故やけがの原因となります。

■車体に穴を開けて取付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。



・交通事故や火災の原因となります。

■車体のボルトやナットを使用して本機を取付ける場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。

■車体のボルトやナットを使用してアース線を接続するときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のビスは絶対に使用しないでください。



・事故の原因となります。



警告

- コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

- 電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。



- ・リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

- 本機を分解したり、改造しないでください。



分解禁止

- ・事故・火災・感電の原因となります。

- 自動車を運転中に音量調節等の操作をしないでください。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。



- ・事故・火災・感電の原因となります。

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

- 万一、異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。



- ・そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

- 事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

⚠ 注意

■本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。



・安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

■必ず付属の部品を指定通り使用してください。



・指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして事故やけがの原因となることがあります。

■雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取付は避けてください。



・本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。

■振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取付は避けてください。



・外れて事故やけがの原因となることがあります。

■本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。



・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

■本機を不安定なところに取付けないでください。



・正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

■正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



・接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正常に動作することを確認してください。

■車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないよう注意してください。



・断線やショートにより、事故・感電・火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。



・ 車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

- ディスク挿入口に異物を入れないでください。



・ 火災や感電の原因となることがあります。

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。



・ けがの原因となることがあります。

指をはさまれないよう注意

- 本機を車載用として以外は使用しないでください。



・ 感電やけがの原因となることがあります。

- 指定の電池以外は使用しないでください。



・ 電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

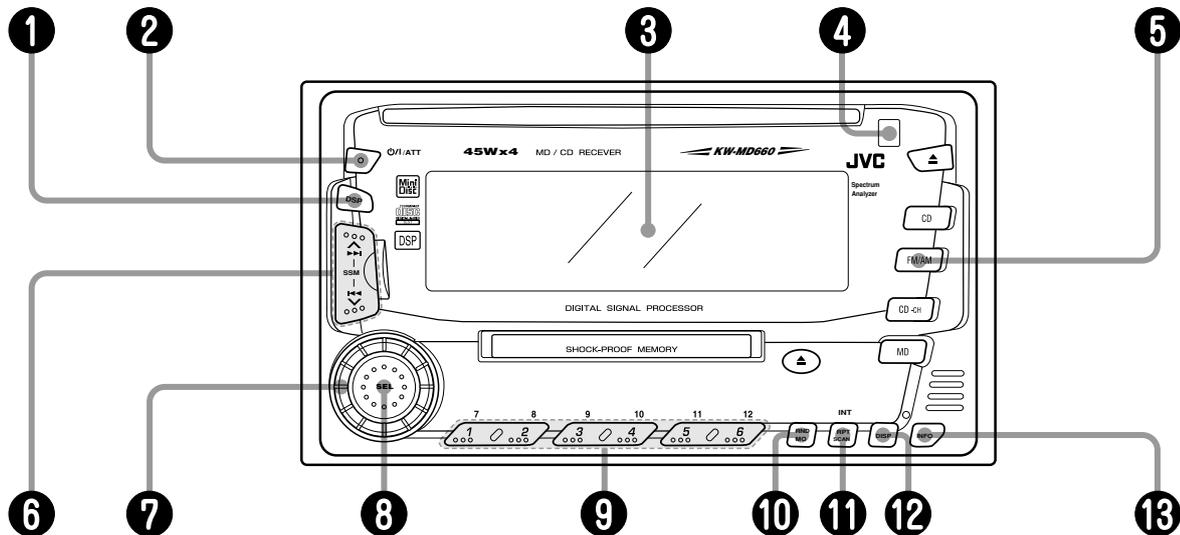
- 電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れてください。



・ 間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

各部の名前と働き(1)

— 共通部分およびラジオを聞くときの働きです。 —



1 DSPボタン

DSPまたはスペアナ*のモードにするとき使います。

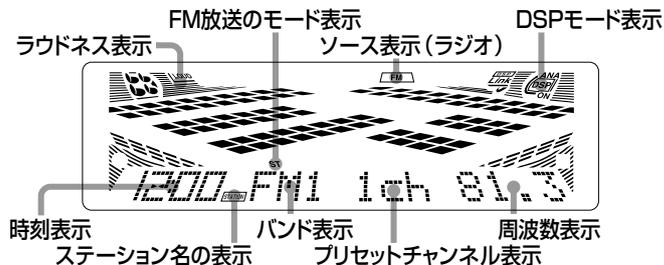
*スペアナ(スペクトラムアナライザーの略)
ソースの音の周波数成分の分布を表示してくれます。

2 電源/ATTボタン

アッテネーター

電源の「オン」↔「オフ」や音量を一時的に下げることができます。➡10ページ参照

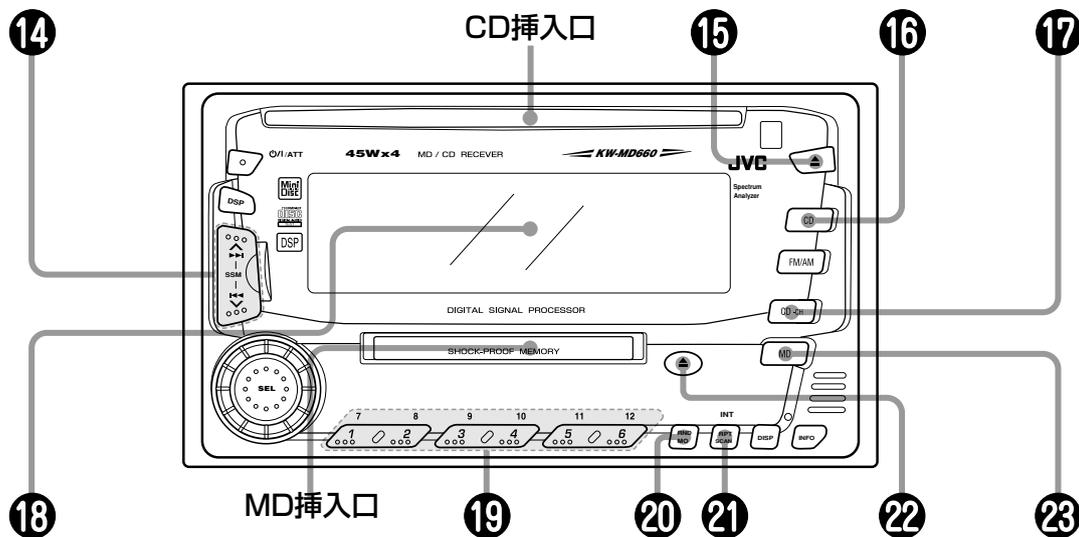
3 表示窓(ラジオのとき)



・バンド表示や周波数表示などの部分を文字表示部といいます。

各部の名前と働き(2)

— MD/CD を聞くと、CD チェンジャーの CD を聞くときの働きです。—



〈お知らせ〉

- 本機にCDチェンジャーが接続されていないときは、ソース(音源)が「CDチェンジャー」にはなりません。
また、本機にMDまたはCDが入っていないときは、ソース(音源)が「MD」または「CD」にはなりません。「NO DISC」が表示されます。

14 (スキップ/サーチ)ボタン

曲の頭出しや早送り、早戻しに使用します。

→ 27 30 35 ページ参照

15 (CD取出し)ボタン

CDを取り出すとき使います。→ 28 ページ参照

16 CDボタン

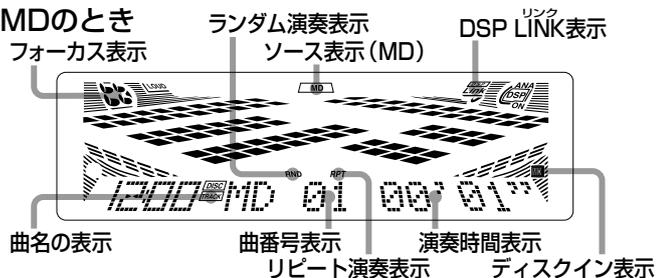
ソース(音源)を「CD」にするとき使います。電源を入れることもできます。

17 CD-CHボタン

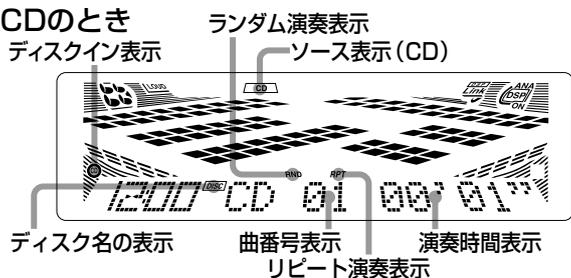
ソース(音源)を「CDチェンジャー」にするとき使います。電源を入れることもできます。→ 35 ページ参照

18 表示窓

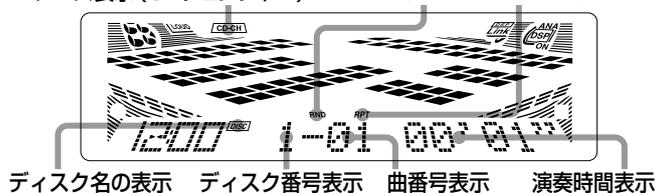
- MDのとき
フォーカス表示



- CDのとき
ディスクイン表示



- CDチェンジャーのとき
ソース表示 (CDチェンジャー) ランダム演奏表示 リPEAT演奏表示

19  ~  ボタン

- 「MD」または「CD」のとき
曲番号ボタン

聞きたい曲を選ぶとき使います。→26 29 ページ参照

- 「CDチェンジャー」のとき
CDダイレクト選択ボタン

CDチェンジャー内の聞きたいCDを直接選ぶとき使います。→30 ページ参照

20  RNDボタン

MDまたはCDに収録されている順番に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。(ランダム演奏)

→26 29 37 ページ参照

21  RPT/INTボタン

1秒以上押しすと、曲をくり返して聞くことができます。(リピート演奏)

聞きたい曲を素早く探したいときは、「ボン」と押します。(イントロスキャン)→26 29 37 ページ参照

22  (MD取出し)ボタン

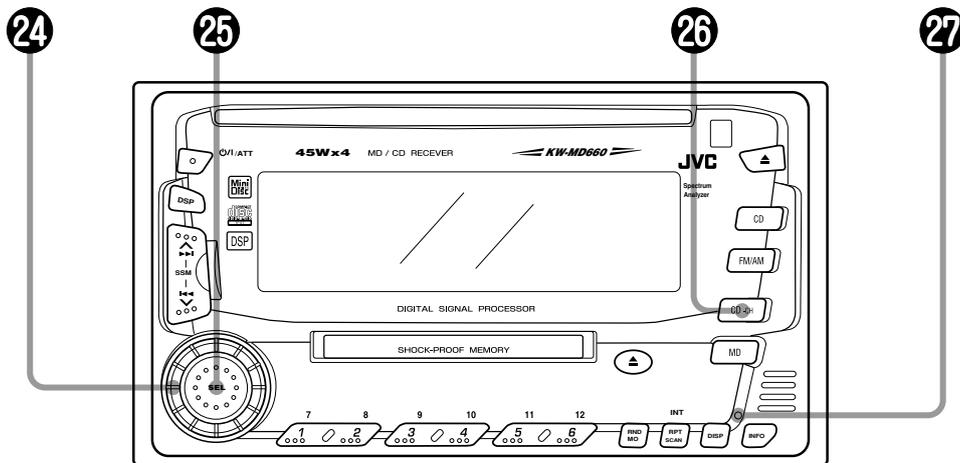
MDを取り出すとき使います。→24 ページ参照

23 MDボタン

ソース(音源)を「MD」にするとき使います。電源を入れることもできます。

各部の名前と働き(3)

— 他の機器の音を聞くととき、その他の働きです。 —

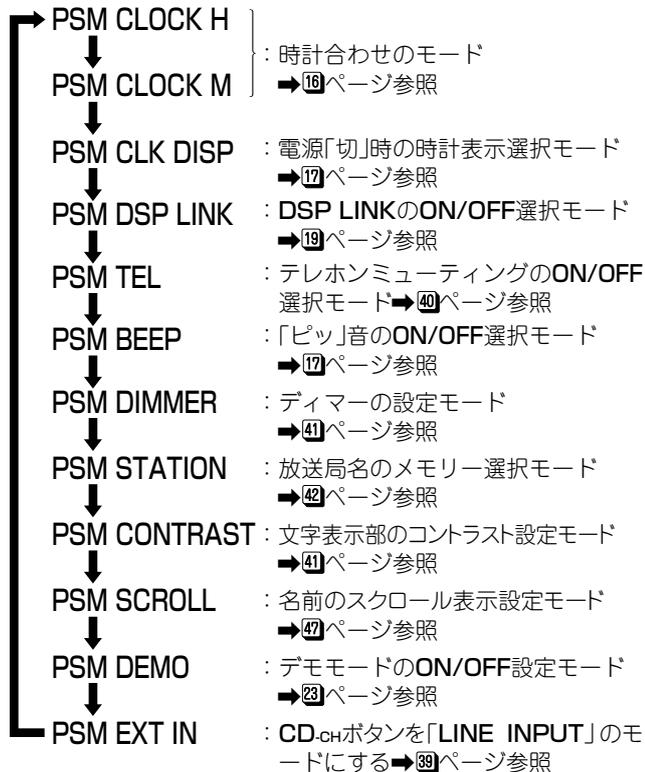


24 ジョグダイヤル

SELボタンを2秒以上押しして選んだPSMのモードの調節または選択ができます。→16 19 ページ参照

25 SELボタン

2秒以上押すと、お買い上げ時は「PSM CLOCK H」のモードになり時計合わせ(「時」の調節)ができます。このとき△(または▽)ボタンを押すと、下記のモードが選べます。



例は△ボタンを押したときです。▽ボタンでは逆に変わります。次からは選んだモードが優先的に表示されます。

26 CD-CHボタン

「LINE INPUT」のモードに切替えたあと、接続した他の機器のソース(音源)にすると使います。→38ページ参照
電源を入れることもできます。

27 リセットボタン

初めて電源を入れたときまたは、どのボタンを押してもうまく動作しなくなったとき、このボタンを押して内蔵のマイコンをリセットします。→52ページ参照

各部の名前と働き

電源/ATTボタン

1秒以上押しと電源の「オン」↔「オフ」ができます。「ボン」と押しと音量を一時的に下げることができます。

ディスク
DISC+ / バンド
BANDボタン

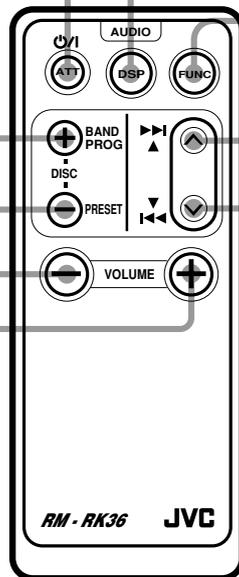
- ・「ラジオ」のとき：バンドが選べます。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。
(PROGの機能はありません)

プリセット
DISC- / PRESETボタン

- ・「ラジオ」のとき：プリセットしてある放送局(1ch～6ch)の選局ができます。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。

ボリューム
VOLUME+、- (音量) ボタン

- 音量の調節ができます。
- ・ +：音量が上がります。
 - ・ -：音量下がります。



DSPボタン

DSPの音場を選ぶとき使います。

ファンクション
FUNCボタン

ソース(音源)を選ぶとき使います。押しごとに

ラジオ → MD → CD → CDチェンジャー (LINE IN)

と変わります。ただし本体にMDやCDが入っていなかったりCDチェンジャーが接続されていないときはラジオのみになります。

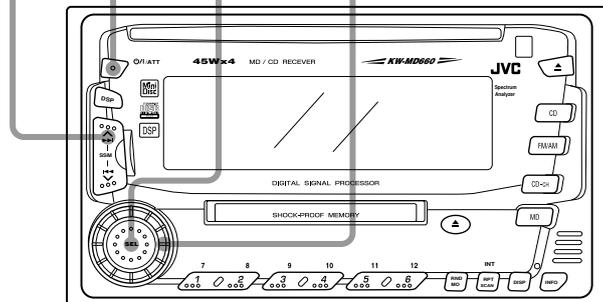
▲、▼ボタン

- ・「ラジオ」のとき：選局(自動選局)ができます。
- ・「MD」、「CD」と「CDチェンジャー」のとき：曲の頭出しや早送り、早戻しができます。
(▲と▼の機能はありません)

時計の合わせかた

— 本機に内蔵の時計を現在時刻に合わせておきます。 —

3-2 1 2 3-1・3-3



1 電源/ATTを押して電源を入れる (HELLO!が表示されます)



電源/ATT

電源を切るときは、
1秒以上押します。
(SEE YOU表示
のあと電源オフ
になります)

「ポン」と押したときは、ATTに
なり音量が一時的に下げられ、
ATT表示が点滅します。
もう一度押すと元の音量に戻り
ます

アッテネーター

2 SELを2秒以上押して「PSM CLOCK H」を表示 させる

クロック アワー



PSM CLOCK H

・2秒以上押す。
・「PSM CLOCK H」以外の表示が出たときは、▲(または▽)ボタンを「ポン・ポン」と押して選びます。

3 現在時刻に合わせる(時刻表示点滅中に操作します)

例：7時30分に合わせるとき(12時間表示方式です)

「時」を合わせる



「時」を
下げるとき 「時」を
上げるとき

(3-1)

「時」表示 「分」表示

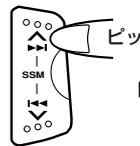


1秒ごとに点滅

・調節中は文字表示部にCLOCK HOURが表示されます。

「PSM CLOCK M」を
表示させる

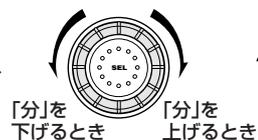
メニュー



ピッ



「分」を合わせる



「分」を
下げるとき 「分」を
上げるとき



(3-2)

(3-3)

・調節中は文字表示部にCLOCK MINUTEが表示されます。

- ・時刻合わせが終わったあと、15秒で自動的に元のソース(音源)表示に戻ります。すぐに戻りたいときはSELボタンを「ポン」と押します。
- ・時刻を合わせ直すときも2~3の操作をします。
- ・「時」が変わるとき(例：10時00分のとき)は、文字表示部に時刻が移りCLOCK 10:00を5秒間表示し、元に戻ります。
- ・お買い上げ時は、電源「切」のとき時計が表示されないようになっています。表示されるようにすることもできます。▶▶▶ページ参照
- ・バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れると、設定した時刻は取り消されます。もう一度時刻合わせをしてください。

電源「切」のとき時計を表示させる

電源「切」のとき表示窓に時計を表示させることができます。

1 SELを2秒以上押します



2秒以上押す。

・お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2  (または)を「ボン・ボン」と押して「PSM CLK DISP」を選ぶ

3 ジョグダイヤルを回して「CLK DISP ON」にする



・左方向に回すと「OFF」に戻せます。

- ・「CLK DISP ON」にすると、本機の電源「切」のとき表示窓に時計が表示されます。
- ・車のエンジンキーをオフにした場合、本機の電源が「切」にならない車種のときは、「CLK DISP ON」にしないでください。バッテリーを消耗する原因となります。

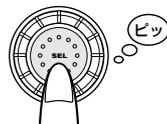
4 SELを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

ボタンを押したときの「ビッ」音を、鳴らなくするには

ボタンを押したときの「ビッ」音を、鳴らなくすることができます。

1 SELを2秒以上押します

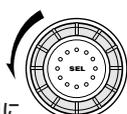


2秒以上押す。

・お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2  (または)を「ボン・ボン」と押して「PSM BEEP」を選ぶ

3 ジョグダイヤルを回して「BEEP OFF」にする



「OFF」にするとき

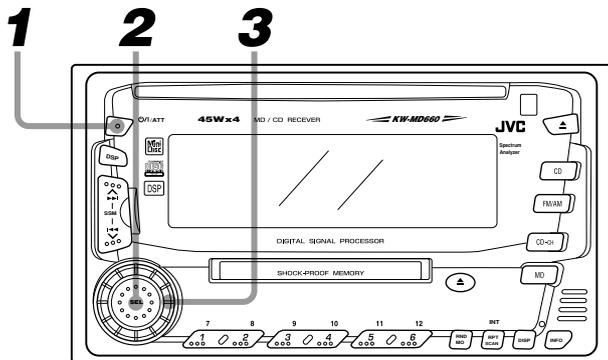
・「BEEP OFF」にすると、ボタンを押したときの「ビッ」音が鳴らなくなります。

(鳴らすように戻すときは、ジョグダイヤルを右方向に回して「BEEP ON」にします)

4 SELを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

音量・音質の調節



一口メモ

- 調節したレベルはメモリー（記憶）されます。電源を切っても次に電源を入れたときは、電源を切る前のレベルが表示されます。
- フェーダー調節は4スピーカー接続のときのみ調節してください。

1 電源/ATTを押して電源を入れる (HELLO! が表示されます)



・電源を切る前のソース(音源)が表示されます。

2 SELを押して調節したいモードを選ぶ



・「ボン・ボン」と押すごとに表示窓に

BASS → TREBLE → FADER → BALANCE

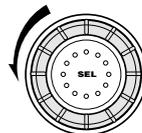
VOLUME ← LOUDNESS ←

と変わります。ただしVOLUME(音量)調節のみの場合、この操作は、必要ありません。直接ジョグダイヤルで調節できます。

・「ボン」と押す

3 ジョグダイヤルを回して調節する

・調節したレベルが表示窓に表示されます。



VOLUME (音量)	音量が下がる	音量が上がる
BASS (低音)	低音が減衰する	低音が強調される
TREBLE (高音)	高音が減衰する	高音が強調される
FADER (フェーダー)	フロント出力が下がる	リア出力が下がる
BALANCE (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる
LOUDNESS (ラウドネス)	ラウドネス“オフ”	ラウドネス“オン”

● 初期設定状態と調節範囲

	初期設定	調節範囲
VOLUME(音量)	15	00~50
BASS(低音)	00(フラット)	-6~+6
TREBLE(高音)	00(フラット)	-6~+6
FADER(フェーダー)	00(センター)	リア フロント R 6 ~ F 6
BALANCE(バランス)	00(センター)	レフト ライト L 6 ~ R 6
LOUDNESS(ラウドネス)	ラウドネス“オン”	オン/オフ

- ラウドネス“オン”に設定すると、が表示になります。音量の設定に関係なく低音、高音が増強されます。小音量時には、より効果が得られます。
- 調節が終わってから5秒後に、表示窓は前の表示に戻ります。

DSP LINK機能について

DSP LINKとは、各ソース(音源)ごとに音質、フェーダー、バランス、ラウドネスを調節してメモリーしておく機能のことです。お買い上げ時は「DSP LINK ON」(が表示)になっておりますので、お好みの音質に調節しメモリーしてください。→10ページ参照各ソース(音源)とも同じ音質にしたいときは、DSP LINKを「OFF」にします。

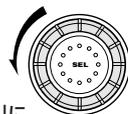
● DSP LINK機能を取り消すには

1 SELを2秒以上押します

- ・お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2  (または)を「ポン・ポン」と押して「PSM DSP LINK」を選ぶ

3 ジョグダイヤルを回して「DSP LINK OFF」にする



「OFF」に
するとき

- ・表示が消えます。音場を変えても同じ音質になります。
- ・右方向に回すと「DSP LINK ON」に戻ります。

4 SELを押す

- ・元のソース(音源)表示に戻ります。

DSPの使いかた

- ・本機には、あらかじめ7つの音場がメモリーされています(これをメーカープリセットといいます)。
ソースの音場にに合わせてジョグダイヤルを回わせば、演奏会場や劇場の雰囲気再現されます。

●メーカープリセット音場の呼び出し

1 DSPを押してDSPモードにする

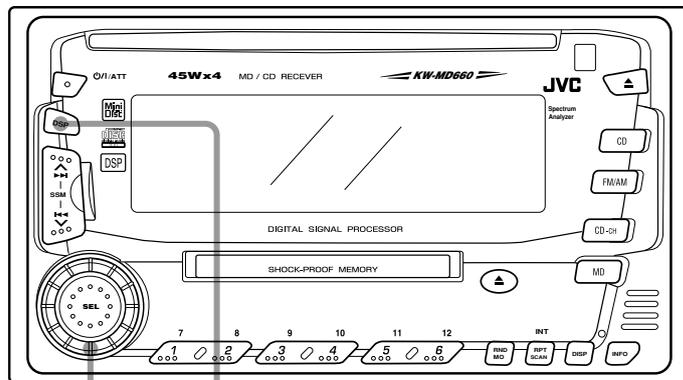


ピッ



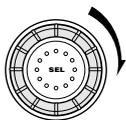
・押すごとにモード
が変わります。

・お買い上げ時は
DEFEAT
が表示されます。



2 **1**

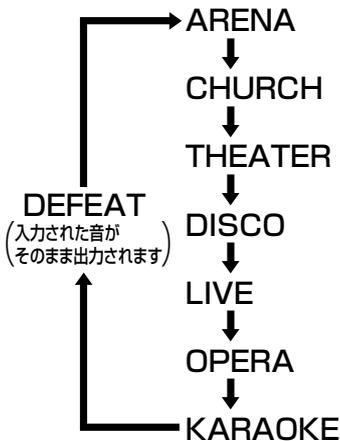
2 ジョグダイヤルを回して音場を選ぶ



・左方向に回すと逆に変
わります。
ディフェイト以外にす
るとONが表示されま
す。



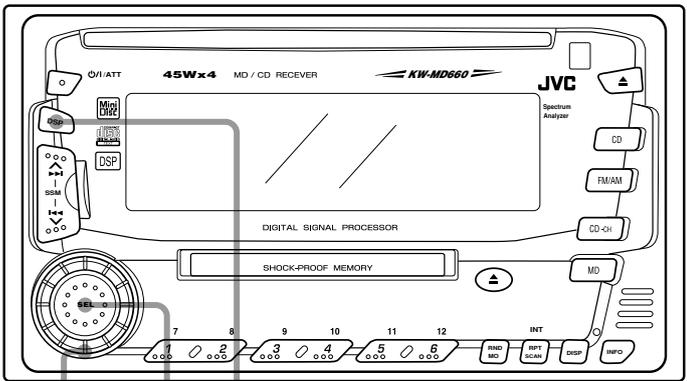
・15秒後に **DSP ON** が点灯表示
になります。



音 場	例えばこんな音楽の再生に
アリーナ	・野外で収録されたコンサートのライブ盤
チャーチ	・バロック音楽 ・ゴスペル調のソウルフルサウンド
シアター	・映画音楽 ・ビデオソフトの音声
ディスコ	・パワフルなロックやポップス系の曲
ライブハウス	・ヘビメタルやロックバンドの演奏
オペラハウス	・オペラやミュージカルなど
カラオケ	・歌入りの曲をカラオケにすると

リスニングポジションの設定

- カー-DSPの目的は、生演奏会場の臨場感を再現することですが、このためには、車室内の非対称音場の改善が必要になります。リスナーの位置に合わせてフォーカスのモードを選んでください。



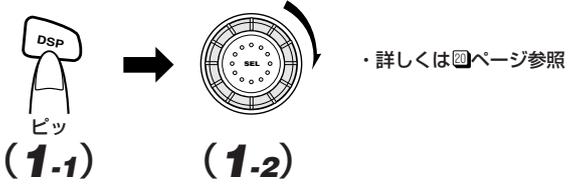
1-2 3 2 1-1

音場を好みの状態でメモリーするには

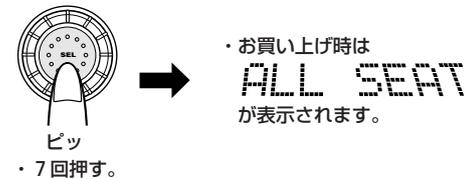
1. 音場およびフォーカスのモードを選ぶ
2. 音質、フェーダー、バランス、ラウドネスを調節する
→ 10 ページ参照
3. DSPボタンを2秒以上押す
 - ・選んだ音場が点滅表示されメモリーされます。ただし音量はメモリーされません。

●フォーカスのモードの選択

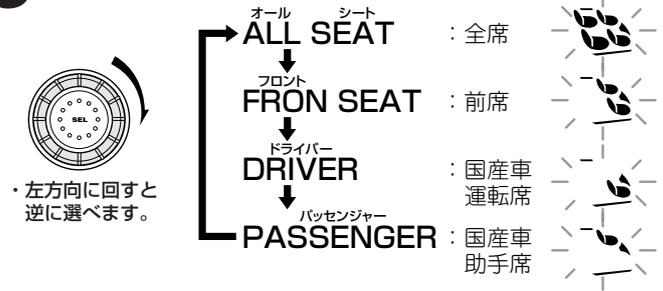
1 DSP→ジョグダイヤルで音場を選ぶ



2 SELを7回押してフォーカスのモードにする

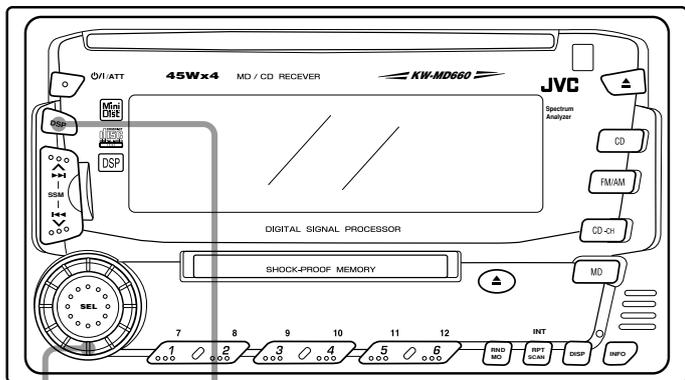


3 ジョグダイヤルでモードを選ぶ



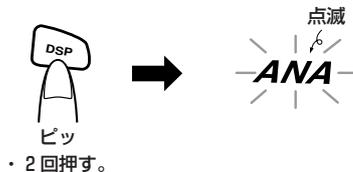
スペアナとして使うには

- ・お買い上げ時は、表示窓がスペアナ表示のALL DEMOになっております。ジョグダイヤルで表示を変えることができます。



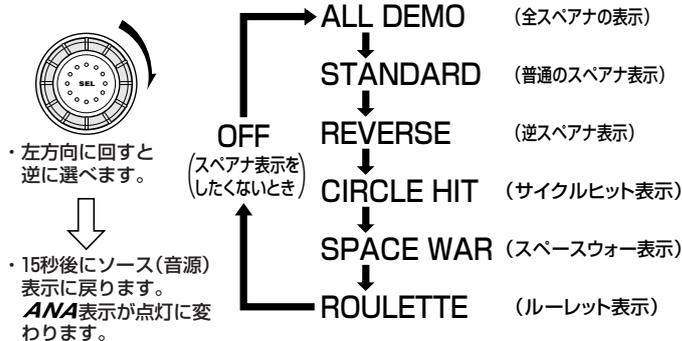
• スペアナ表示の選択

1 DSPを2回押してスペアナのモードにする



- ・お買い上げ時は **ALL DEMO** が表示されます。スペアナの各モードの表示をくり返します。

2 ジョグダイヤルを回してスペアナ表示を選ぶ



表示窓のモードを変えるには

● 表示窓のデモ表示について

本機は、一定時間* 何の入力信号がない状態が続くと、自動で以下のようなデモ表示を行います。

KW-MD660 → MD → CD → KW-MD660 → DSP



* 一定時間は：

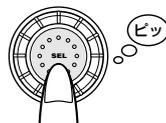
- 初めて電源を入れたとき
- リセットボタンを押してリセットしたときは 10 秒
- 入力信号のない状態（放送局を受信していないときなど）が 3 分以上続いたとき

デモ表示を出なくするには右の説明をご覧ください。

表示窓のデモモードの解除／設定

電源を「オン」にしたときのデモ表示を出なくすることができます。

1 SELを2秒以上押します

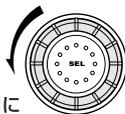


2秒以上押す。

・ お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 𠃉(または𠃊)を「ポン・ポン」と押して「PSM DEMO」を選ぶ

3 ジョグダイヤルを回して「DEMO OFF」にする



「OFF」にすると

・ 「DEMO OFF」にすると、デモ表示を出なくすることができます。
通常は、「DEMO OFF」で使用することをお勧めします。

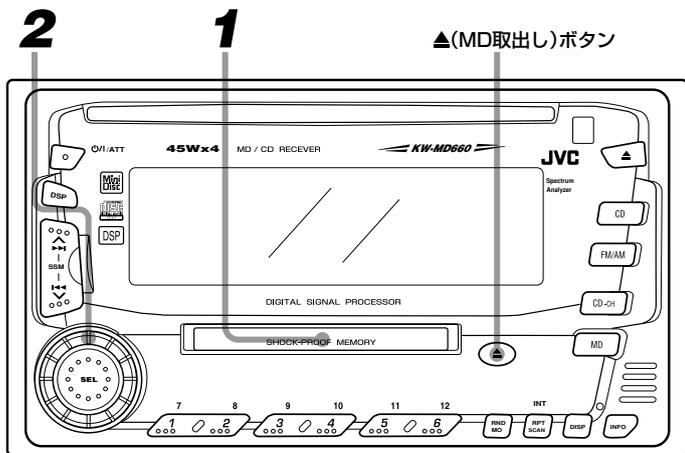
（元に戻すときは、ジョグダイヤルを右方向に回して「DEMO ON」にします）

4 SELを押す

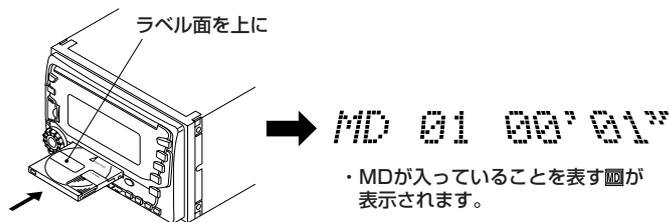
・ 元のソース（音源）表示に戻ります。
この場合、「時間」が変わっても、文字表示部に時刻は移りません。

MDを聞く

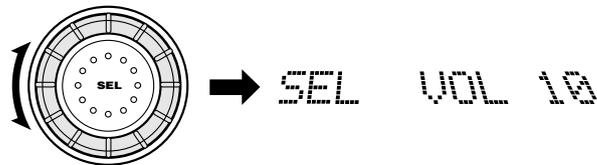
— 番号順に操作します。 —



1 MDを入れる (電源が入り、演奏がスタートします)



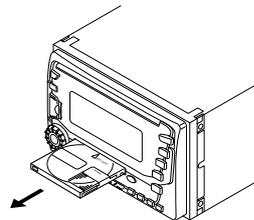
2 ジョグダイヤルで音量を調節する



MDを挿入するときは

- 故障を防止するため次のことを確認してください。
 - ・ラベル面を上にする。
 - ・挿入方向の⇨や⇩の表示に従って本体に入れる。
 - ・無理に押し込まない。
(途中で入れると自動で引き込まれます)
 - ・ラベルのはがれかかったMDは使用しない。
 - ・カートリッジ表面のほこりやゴミはふき取ってから入れる。

- MDを取り出すときは▲(MD取出し)ボタンを押します。エンジンキーが「OFF」のときでも取り出せます。MDが出てきたのち電源が切れます。



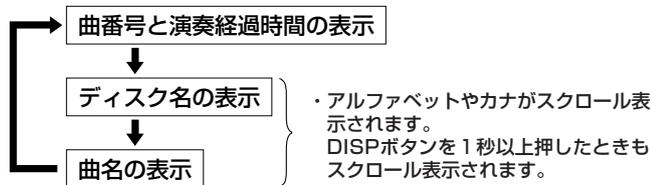
表示窓にディスク名を表示させるには

MDを挿入すると演奏がスタートし、表示窓に「ディスク名→曲名→曲番号と演奏経過時間」が順に表示されます。



・押すことにより
変わります。

DISPボタンを「ボン・ボン」と押すと、ディスク名などを表示させることができます。



なお、MDにディスク名や曲名が記録されていないときは表示されません。「NO NAME」が表示されます。

〈お知らせ〉

スクロール表示は、お買い上げ時は1回自動でスクロールワン(ONCE)の状態になっています。AUTO(自動)またはOFF(切)に変えることもできます。→47ページ参照

●音量調節について

MD(CD)の演奏は、無音状態での雑音がほとんどありません。気づかずに大きめの音量に調節すると、思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損する恐れがあります。電源を切る前に音量を下げてください。

●MDを入ると…

ソース(音源)は、自動的に「MD」になり演奏がスタートします。またMD演奏中に電源を切ったときは、電源を入れると自動的に演奏がスタートします。またモノラルで録音されたMDを入れると、自動的にモノラルで演奏されます。

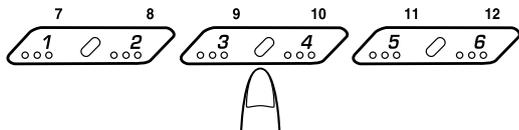
〈お知らせ〉

●モノラルで録音されたMDを演奏した場合、演奏時間が正確に表示されることがあります。

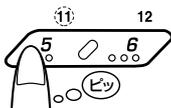
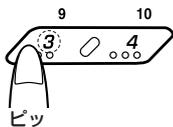
MDを聞く(つづき)

ダイレクト演奏

演奏中に聞きたい曲に合わせて曲番号ボタンを押すと、すぐその曲に移り演奏がスタートします。



- 1～6曲目を聞くときは…
聞きたい曲番号のボタンを「ポン」と押します。
例：3曲目のとき
- 7～12曲目を聞くときは…
聞きたい曲番号のボタンを1秒以上押します。
例：11曲目のとき



- 13曲目以上は、演奏中にINTボタンを押して聞きたい曲番号を選びます。⇒27ページ「スキップ」演奏参照

1曲リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲だけをくり返して聞くことができます。



REPEAT ON

1秒以上押します。
もう一度1秒以上押すと、解除されます。

・表示窓に「RPT」が表示されます。

ランダム演奏

演奏中のMDを、収録してある順に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。



RANDOM ON

もう一度押すと、解除されます。

・表示窓に「RND」が表示されます。

イントロスキャン

イントロスキャン中は、曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったらイントロスキャンを解除します。



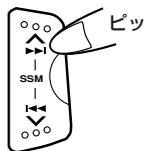
INTRO ON

「ポン」と押します。
もう一度押すと、解除されます。

・イントロスキャン中の曲の曲番号が点滅します。

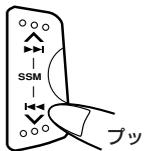
スキップ演奏(曲の頭出し)

● 演奏中に次の曲を聞くには…



・▶ボタンを「ポン」と1回押すごとに次の曲次の曲へと移り、頭から演奏が始まります。

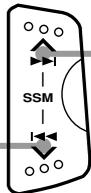
● 演奏中に前の曲を聞くには…



・◀ボタンを「ポン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう一回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

・演奏中のMDの好みの位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。



早送りをするとき
押し続ける

早戻しをするとき
押し続ける

サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。
このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。
指を離すと普通の演奏に戻ります。

お願い

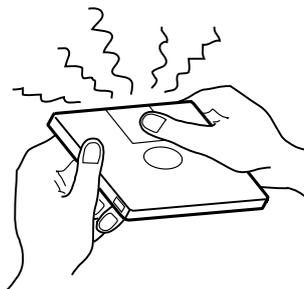
● MDを保管するときは

専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。

MDのカートリッジが変形すると、使用できなくなります。

● MDのシャッターについて

MDのシャッターは開かないようにロックされています。無理に開けると、ディスクがこわれます。

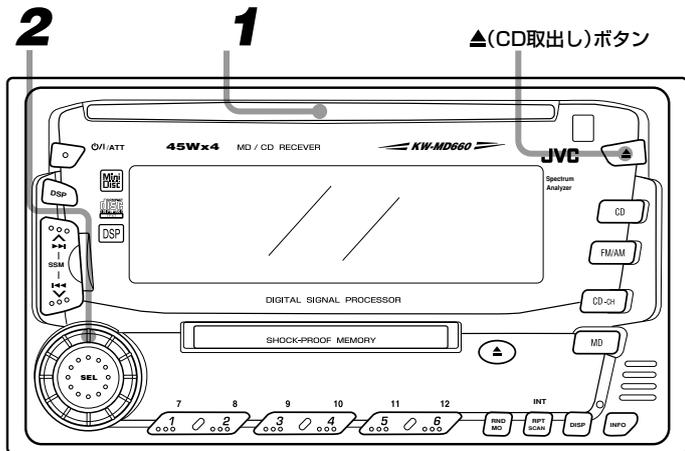


● MDカートリッジにラベルを張ってお使いになる場合

ラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

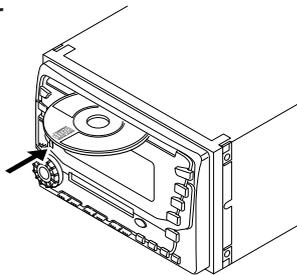
CDを聞く

— 番号順に操作します。 —



● 8センチCDの入れかた

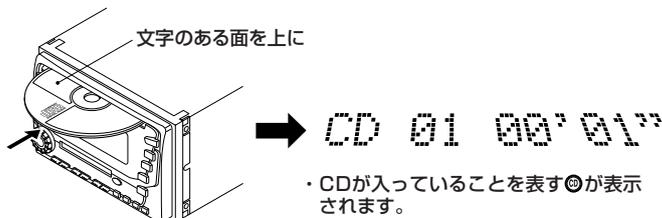
8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れます。



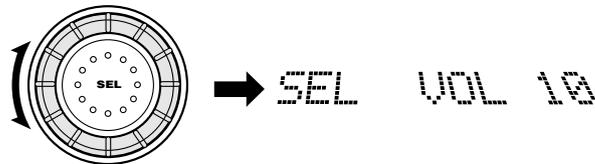
● CDを入ると…

ソース(音源)は、自動的に「CD」になり演奏がスタートします。またCD演奏中に電源を切ったときは、電源を入れると自動的に演奏がスタートします。

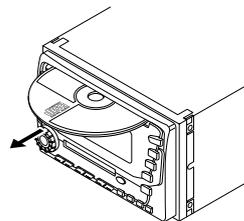
1 CDを入れる (電源が入り、演奏がスタートします)



2 ジョグダイヤルで音量を調節する



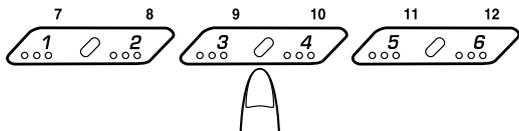
- CDを取り出すときは、▲(CD取出し)ボタンを押します。エンジンキーが「OFF」のときでも取り出せます。CDが出てきたのち電源が切れます。
(取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動的に中に引き込まれます)



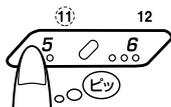
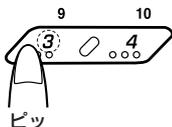
- 文字のある面に「COMPACT disc」または「compact disc DIGITAL AUDIO」のマークが入っている、JIS規格に合ったCDをお使いください。

ダイレクト演奏

演奏中に聞きたい曲に合わせて曲番号ボタンを押すと、すぐその曲に移り演奏がスタートします。



- 1～6曲目を聞くときは…
聞きたい曲番号のボタンを「ポン」と押します。
例：3曲目のとき
- 7～12曲目を聞くときは…
聞きたい曲番号のボタンを1秒以上押します。
例：11曲目のとき



- 13曲目以上は、演奏中に△ボタンを押して聞きたい曲番号を選びます。→20ページ「スキップ演奏」参照

CD-Rディスクについて

お客様が編集したCD-Rディスクは、ファイナライズされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- CD-Rディスクをお使いになる前に、使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RW(リライタブル)ディスクは演奏できません。

1曲リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲だけをくり返して聞くことができます。



REPEAT ON

1秒以上押します。
もう一度1秒以上押すと、解除されます。

・表示窓に「RPT」が表示されます。

ランダム演奏

演奏中のCDを、収録してある順に関係なくランダム(無作為)に聞くことができます。



RANDOM ON

ピッ
もう一度押すと、解除されます。

・表示窓に「RND」が表示されます。

イントロスキキャン

イントロスキキャン中は、曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったらイントロスキキャンを解除します。



INTRO ON

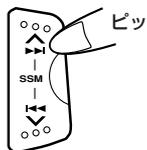
「ポン」と押します。
もう一度押すと、解除されます。

・イントロスキキャン中の曲の曲番号が点滅します。

CDを聞く(つづき)

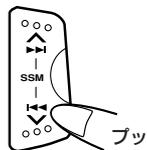
スキップ演奏(曲の頭出し)

●演奏中に次の曲を聞くには…



・▶ボタンを「ボン」と1回押すごとに次の曲次の曲へと移り、頭から演奏が始まります。

●演奏中に前の曲を聞くには…



・◀ボタンを「ボン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう一回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

・演奏中のCDの好みの位置を探るときは、早送り・早戻しの機能を使います。



早送りをするとき
押し続ける

早戻しをするとき
押し続ける

サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。
このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。
指を離すと普通の演奏に戻ります。

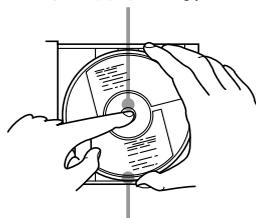
お願い

●CDを保管するときは

専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。

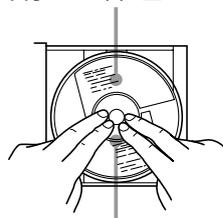
●ケースからの出し入れ

センターホルダーを押さえ…



演奏面(虹色に光っている面)に
触れないように持って出す。

文字のある面を上にして…



上から押さえて入れる。

- ラベル面に紙を張ったり字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。



- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。シェイプCDを入れると、故障の原因となります。
- 8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。

ラジオを聞く

— 番号順に操作します。 —

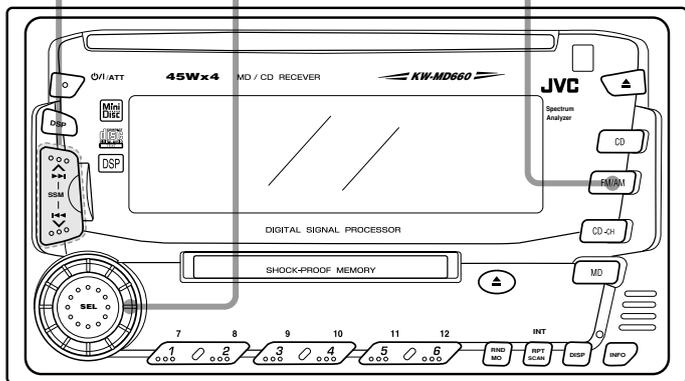
マニュアル選局

……電波の弱い放送局を受信したり、聞きたい放送局の周波数が分かっているときなどに使います。

3・4

5

1・2



● マニュアル選局のモードは…

選局の操作から5秒後に、マニュアル選局のモードは自動的に解除されます。シーク選局(➡32ページ参照)のモードになります。

ご注意

- 交通安全のため、運転中は本機を操作しないでください。必ず停車時に操作してください。

1 FM/AMでソース(音源)を「ラジオ」にする ➡電源が入ります



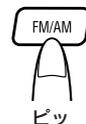
・電源が入ると自動的に前の放送局を受信できます。

(FM放送の場合)
FMが表示されます



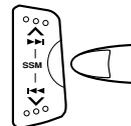
・表示窓にバンドと周波数が表示されます。
お買い上げ時は、FM1 76.0が表示されます。

2 FM/AMでバンドを選ぶ



・押すごとに FM1 → FM2
↑ ↓
AM2 ← AM1
と変わります。
・AM放送はモノラル受信です。

3 選局ボタン(▲または▼)を1秒以上押してマニュアル選局のモードにする



・選局ボタン(▲または▼)を1秒以上押して表示窓に「MANU」を点滅させます。

4 選局ボタン(▲または▼)で放送局に合わせる

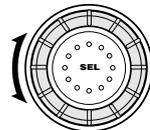


周波数が増える

周波数が下がる

- ・1回押すとFMは0.1MHz、AMは9kHzずつ移動し、押し続けると連続して変わります。

5 ジョグダイヤルで音量を調節する



ラジオを聞く(つづき) — 番号順に操作します。 —

プリセット選局

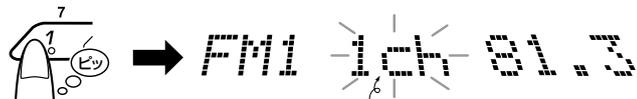
本機は、周波数を記憶しておくメモリー回路が内蔵されていますので、いったんメモリーしておけばあとはプリセットボタンを押すだけで正確な放送局の呼び出しができます。

- 操作例：FM放送の81.3MHzにある局をプリセットボタンにメモリーするには…

1 FM/AMで「FM1」を選ぶ → *FM1*

2 選局ボタン(または)で希望の放送局に合わせる

3 プリセットボタンの「」を2秒以上押す



プリセットボタンと同じチャンネル数字が点滅するとメモリーされます。

- ・バンドごとに6局ずつメモリーできますので、上記の操作例を参考にお好きな順序でプリセットボタンにメモリーしてください。
AM放送の場合でも同じ手順でメモリーできます。

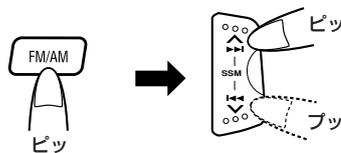
ご注意

- バッテリーの交換等でメモリー回路への電源供給が途切れるとメモリーした局や時刻の設定は、すべて取り消されます。このようなときはもう一度メモリー操作と、時刻合わせをしてください。

シーク選局(自動選局)

「MANU」が表示窓に表示されていないときは、選局ボタン(または)を「ポン」と押すだけでチューナーが自動的に放送局を探してくれます。これをシーク選局(自動選局)といいます。希望する放送局の周波数を正確に覚えていないときなどにお使いください。

例：FM放送のとき



・ FM1 または FM2 を選ぶ。

「ポン」と押して離す。

・「SEEK」が表示され放送局が見つかったと、選局が自動停止します。

モノラル MO ボタンの使いかた



FMステレオ放送受信時に電波状態が悪くて雑音が多いとき、このボタンで切換えます。表示窓に**MONO ON**表示のあと「MO」が表示されモノラル受信モードになり、聞きやすくなります。電波状態が良好になったら「ST」表示に戻してお使いください。

SSM(ストロングステーションメモリー)の使いかた

チューナーが自動的に電波の強い放送局を、周波数の低い順に6局までメモリーしてくれます。

旅行先などで放送局を探すときに便利です。

●操作例：FM 1 にメモリーするとき

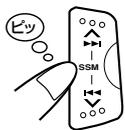
1 FM/AMでバンドを選ぶ(FM 1にする)



FM 1

(選んだバンドごとにメモリーできます)

2 選局ボタンの▲と▼の中央を2秒以上押す



FM 1 SSM

・チューナーが放送局を探し、自動的に電波の強い放送局を、周波数の低い順に、プリセットボタンの(4.5 0.5)~(5.5 0.5)にメモリーしていきます。(前のメモリー内容は取り消されます)

中央を2秒以上押す。

3 放送局が6局メモリーされるとプリセット1の表示になります

・プリセットボタン(4.5 0.5)~(5.5 0.5)を押して聞きたい放送局を選びます。(放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります)

アンテナリモートについて

電動アンテナ装備車およびアンテナプースター装備車の場合は、**オートアンテナ** コードを車両側の対応する端子(オートアンテナ)に接続してください。ソース(音源)を“ラジオ”にすると自動的にアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。“CDチェンジャー”や“CD”、“MD”などにソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(**オートアンテナ** の最大コントロール電流は250mAです)

オートアンテナ コードを接続しても、コントロール電流が過大で放送の受信がうまくできないときは、**リモート出力** に接続し直してください。

この場合、どのソース(音源)でもアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。

スキャン選局



SCANボタンを押すと、「SCAN」が表示され自動的に周波数が高い方に移動して放送局を探します。放送を受信するごとに表示の周波数が点滅し、約5秒間モニターしていきます。

聞きたい放送局のところでもう一度、SCANボタンを押すとスキャン選局を停止し、その放送を継続して聞くことができます。

ラジオを聞く(つづき)

道路交通情報を聞く



高速道路などの特定地域では、AM1,620kHzで道路交通情報を聞くことができます。聞きたいところで**INFO**ボタンを押すと、ソース(音源)に関係なく1,620kHzが受信できます。

INFO **1620**

- **INFO**ボタンを押して放送を聞いている状態では、放送局名を表示させることはできません。
- このモードのときはボリュームが独立しており、交通情報を聞く場合にのみ音量を上げることができます。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。
- なお、別の放送局を受信中に**INFO**ボタンを2秒以上押すと、その放送局と音量が**INFO**ボタンにメモリーされます。

CDテキストについて

CDテキストについて



「CDテキスト」は、今までの音楽CDにアルバムタイトルや曲名、アーティスト名などの文字情報を追加した、音楽CDの新しい機能です。

本機にCDテキスト対応のCDを入れたり、CDテキスト対応のCDチェンジャー：CH-X1200(別売り)を接続し、CDテキスト対応のCDを演奏するとアルファベットや数字で「CDテキスト」データを表示します。

● CDテキストの情報を見るには

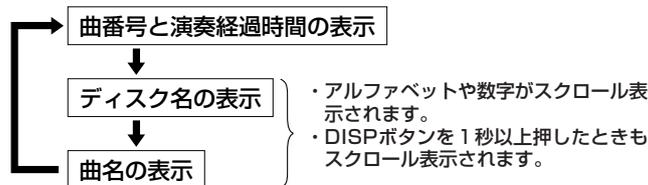
CDテキスト対応のCDの演奏がスタートすると、表示窓に

「ディスク名→曲名→曲番号と演奏経過時間」が順に表示されます。

DISPボタンを「ポン・ポン」と押すと、ディスク名などを表示させることができます



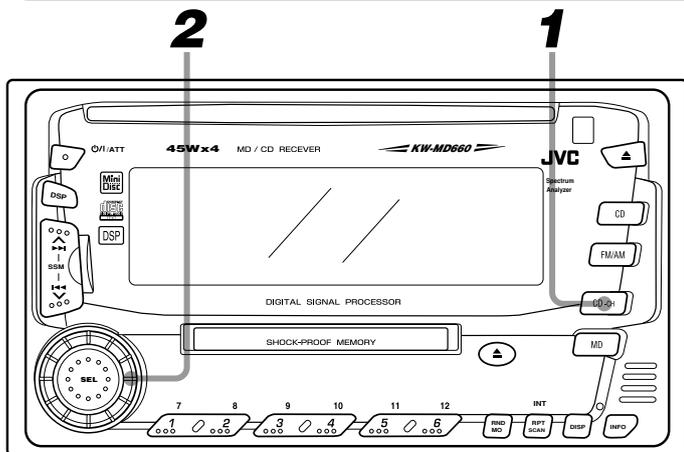
- ・ 押すごとに変わります。



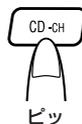
CDチェンジャーのCDを聞く

— 番号順に操作します。 —

全曲演奏 — CDチェンジャー内のマガジンにはあらかじめCDを入れておいてください。 —



1 CD-CHでソース(音源)を「CDチェンジャー」にする→電源が入ります

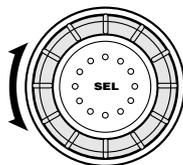


・CDチェンジャーを演奏中に電源を切ったときは、電源が入ると自動的に演奏が始まります。

1-01 00' 01

・演奏中は「CD-CH」が表示されます。

2 ジョグダイヤルで音量を調節する



→ SEL VOL 10

● CD-CHボタンを押しても「CDチェンジャー」に切り換えができないときは…

CD-CHボタンのモードを「LINE INPUT」から「CDチェンジャー」のモードに変えます。→ 39 ページ参照

● 最後の曲の演奏が終わると、自動的に次のCDの演奏が始まります。(全CDのくり返し演奏になります)

● 演奏を途中でやめる

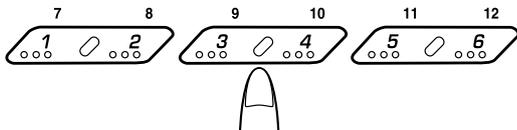
FM/AMやMD、CDボタンを押して他のソース(音源)に切り換えます。

ラジオを聞く(つづき)・CDチェンジャーのCDを聞く

CDチェンジャーのCDを聞く(つづき)

CDダイレクト選択ボタンの使いかた

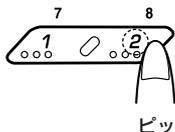
聞きたいCDが分かっているときは、CDダイレクト選択ボタンを使うと便利です。CDが選ばれると、選んだCDの1曲目から演奏が始まります。



聞きたいCDが入っているディスクトレイの番号に合わせてボタンを押します。(マガジンの下から順に1・2・3…となっています)

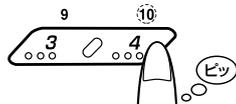
- ・ 1～6枚目を選ぶときは：ボタンに表示されている番号のボタンを「ポン」と押します。

例：2枚目のとき



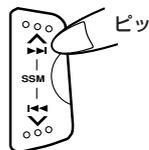
- ・ 7～12枚目を選ぶときは：ボタンの上のパネル面に表示されている番号のすぐ下のボタンを1秒以上押します。

例：10枚目のとき



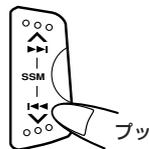
スキップ演奏(曲の頭出し)

- 演奏中に次の曲を聞くには



- ・ 右のボタンを「ポン」と1回押すごとに次の曲の曲へと移り、頭から演奏が始まります。

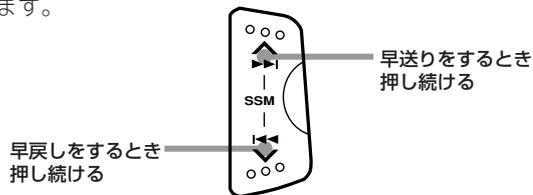
- 演奏中に前の曲を聞くには



- ・ 左のボタンを「ポン」と1回押すと今演奏中の曲の頭に戻ります。もう1回押すと前の曲の頭に戻り、演奏が始まります。

サーチ演奏(早送り・早戻し)

- ・ 演奏中の曲の途中の位置を探すときは、早送り・早戻しの機能を使います。



サーチ速度は始めゆっくり、押し続けると速くなります。このとき演奏音は通常の1/4程度の大きさで聞こえます。指を離すとふつうの演奏に戻ります。

ランダム演奏

ランダム

- ・ RNDボタンを使うとCDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。表示窓に「RANDOM1」または「RANDOM2」が表示されます。



- ・ 押すごとに次のように動作します。
- ・ RANDOM1 : 演奏中のCDの中から1曲ずつランダム演奏をします。演奏中のCDの曲が全て演奏し終わると、次のCDでランダム演奏になります。(RNDが表示窓で点灯し続けます)
- ・ RANDOM2 : マガジン内の全てのCDの中から1曲ずつランダム演奏をします。(RNDが表示窓で点滅し続けます)

リピート演奏(くり返し演奏)

リピート

- ・ RPTボタンを使うと演奏中の曲をくり返して聞くことができます。表示窓に「REPEAT1」または「REPEAT2」が表示されます。

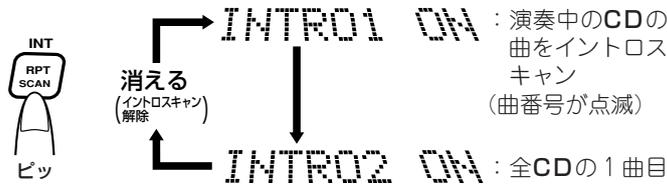


- ・ 1秒以上押します。押すごとに次のように動作します。
- ・ REPEAT1 : 演奏中の1曲をくり返して聞くことができます。(RPTが表示窓で点灯し続けます)
- ・ REPEAT2 : 演奏中のCDの全曲をくり返して聞くことができます。(RPTが表示窓で点滅し続けます)

イントロスキャン

イントロ

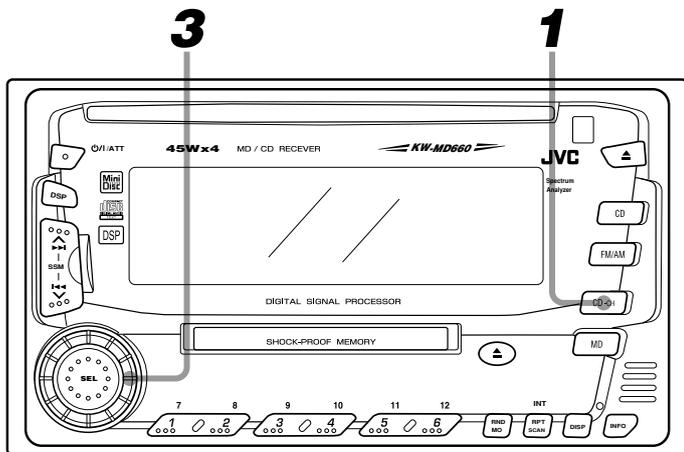
- ・ INTボタンを使うと聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏します。



- ・ 「ボン」と押します。押すごとに次のように動作します。

他の機器の音を聞く

— 番号順に操作します。 —



- あらかじめCD-CHボタンを「LINE INPUT」のモードに切換えておきます。→ 39ページ参照

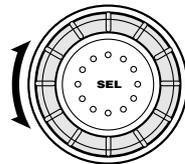
1 CD-CHを押す→電源が入ります



2 接続した機器を演奏状態にする

- 接続した機器に音量調節があるときは、MDなどの演奏音と同じ程度聞こえるように調節してください。

3 ジョグダイヤルで音量を調節する



〈お知らせ〉

- 他の機器(RCAの2チャンネル出力端子付)は、変換コード: KS-U 57(別売り)を使ってCDチェンジャー端子に接続することができます。すでにCDチェンジャーが接続されている場合は、ご利用になりません。

MD/CDの盗難防止について

本機に入れたMDやCDを、他の人が取り出せなくすることができます。

CD-CHボタンのモードを変更するには

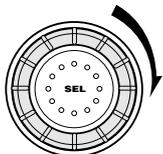
CDチェンジャー端子に他のカーAV機器を接続したときは、CD-CHボタンのモードを「LINE INPUT」に変えます。ソース(音源)は「CDチェンジャー」以外にしておきます。

1 SELを2秒以上押す

・お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 ▲(または▼)を「ポン・ポン」と押して「PSM EXT IN」を選ぶ

3 ジョグダイヤルで「LINE INPUT」にする



・CDチェンジャーを接続したときは、チェンジャー左方向に回して「CD CHANGER」に戻します。「CDチェンジャー」のモードになりません。

4 SELを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- ・ソース(音源)が「CDチェンジャー」のときは、手順2のとき「PSM EXT IN」にはなりません。

MDの場合



- ↓
- ノーマル イジェクト
- ・「NO MD EJECT」が点滅表示され、MDの取り出しができなくなります。
 - ・もう一度同じ操作をすると、「MD EJECT OK」が点滅表示されMDの取り出しができます。

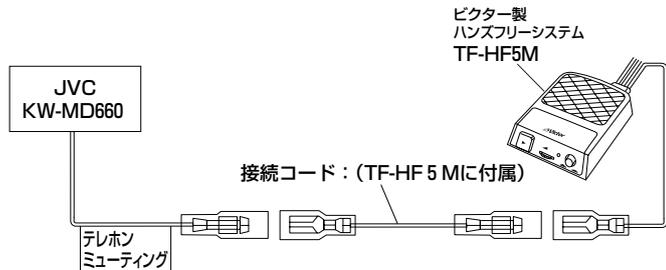
CDの場合



- ↓
- ・「NO CD EJECT」が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。
 - ・もう一度同じ操作をすると、「CD EJECT OK」が点滅表示されCDの取り出しができます。

テレホンミュートについて

接続のしかた



- 接続については、別冊の取付説明書をご覧ください。

テレホンミュートとは

ピクチャー製のハンズフリーシステム：TF-HF5Mと接続した携帯電話やPHSに着信すると、「TEL」が点滅表示され本機の音が自動的に出なくなります。これをテレホンミュートといい通話しやすくなります。

相手が切る*と自動で本機からの音が出るように戻ります。

- * ピクチャー製のハンズフリーシステムは、自動着信&自動終了方式となっております。こちらで通話をON/OFFする必要はありません。

《お知らせ》

- ピクチャー製のハンズフリーシステムに適用する携帯電話やPHSは、ハンズフリーシステムのカatalog・取扱説明書をご覧ください。また日本ピクチャーのホームページでもご覧になれます。
日本ピクチャーのホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>

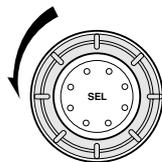
テレホンミュートのモードを変えるには

1 SELを2秒以上押す

- ・ お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 𠃉(または𠃊)を「ボン・ボン」と押して「PSM TEL」を選ぶ

3 ジョグダイヤルを回してミュートのモードを選ぶ



- ・ 右方向に回すと「MUTING ON」に戻せません。

MUTING ON : テレホンミュートを使うとき (お買い上げの状態)

MUTING OFF : テレホンミュートを使わないとき

4 SELを押す

- ・ 元のソース (音源) 表示に戻ります。

表示窓の明るさ／コントラストを変える

— 番号順に操作します。 —

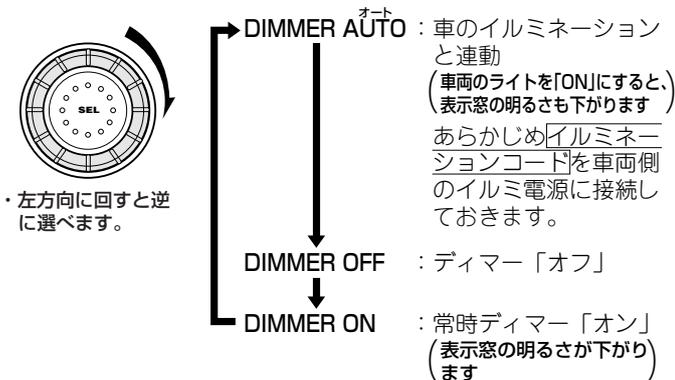
表示窓の明るさを変えるには

1 SELを2秒以上押す

・お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 (または)を「ボン・ボン」と押して「PSM DIMMER」を選ぶ

3 ジョグダイヤルでディマーのモードを選ぶ



4 SELを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

表示窓のコントラストの調節

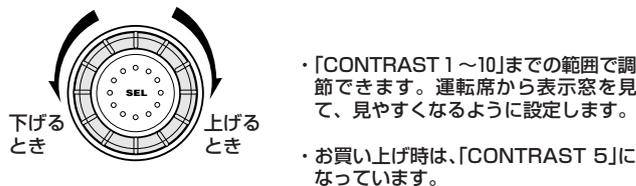
表示窓の文字表示部が見えにくいときには、コントラストを調節します。

1 SELを2秒以上押す

・お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 (または)を「ボン・ボン」と押して「PSM CONTRAST」を選ぶ

3 ジョグダイヤルでコントラストを調節する



4 SELボタンを押す

・元のソース(音源)表示に戻ります。

CDの名前や放送局名などを表示させる

表示の概要

CDの名前、放送局名を表示することができます。

ソース(音源)	表示する名前	文字数
CD/CDチェンジャー*	ディスク名	1枚当たり最大32文字 を40枚分まで記憶
ラジオ	放送局名	32局分を最大12文字ずつ (自動で表示するとき は含まず)

*CDテキストの表示を変えることはできません。

- MDの場合は、すでにMDにタイトル名や曲名が記録されているときに限り表示されます。本機で記憶させることはできません。また漢字で記録されているMDのタイトル名や曲名を本機で表示することはできません。

放送局名を自動で表示させるには

本機をご利用になる地域の放送局を受信したときは、自動で放送局名を表示させることができます。

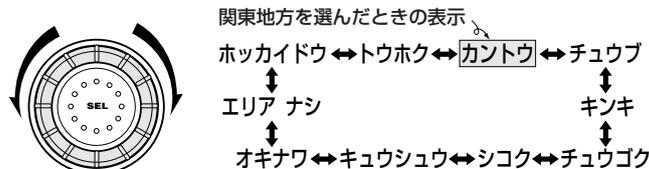
放送局名と表示名は、[43](#)～[47](#)ページをご覧ください。

1 SELを2秒以上押す

- ・お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 (または)を「ポン・ポン」と押して「PSM STATION」を選ぶ

3 ジョグダイヤルを回してご利用の地域を選ぶ



- ・お買い上げのときは「エリア ナシ」になっています。

4 SELを押す

- ・放送局名が表示されるようになります。

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
北海道(FM)	AIR-G'	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz
	NHK-FM	NHK-FM	〃	85.2MHz
	〃	〃	旭川	85.8MHz
	〃	〃	北見	86.0MHz
	〃	〃	函館	87.0MHz
北海道(AM)	NHK第1	NHKダイ1	札幌	567kHz
	〃	〃	釧路	585kHz
	〃	〃	帯広	603kHz
	〃	〃	旭川	621kHz
	STVラジオ	STVラジオ	函館	639kHz
	NHK第1	NHKダイ1	〃	675kHz
	NHK第2	NHKダイ2	北見	702kHz
	〃	〃	札幌	747kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	旭川	864kHz
	〃	〃	室蘭	864kHz
	STVラジオ	STVラジオ	釧路	882kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	函館	900kHz
	STVラジオ	STVラジオ	網走	909kHz
	NHK第1	NHKダイ1	室蘭	945kHz
	STVラジオ	STVラジオ	帯広	1,071kHz
	NHK第2	NHKダイ2	室蘭	1,125kHz
	〃	〃	帯広	1,125kHz
	〃	〃	釧路	1,152kHz
NHK第1	NHKダイ1	北見	1,188kHz	
STVラジオ	STVラジオ	旭川	1,197kHz	
HBCラジオ	HBCラジオ	帯広	1,269kHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数	
北海道(AM)	HBCラジオ	HBCラジオ	札幌	1,287kHz	
	〃	〃	稚内	1,368kHz	
	〃	〃	釧路	1,404kHz	
	STVラジオ	STVラジオ	札幌	1,440kHz	
	HBCラジオ	HBCラジオ	網走	1,449kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	函館	1,467kHz	
	HBCラジオ	HBCラジオ	名寄	1,494kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	旭川	1,602kHz	
	東北海道(FM)	FM岩手	FMイワテ	盛岡	76.1MHz
		FM仙台	Date FM	仙台	77.1MHz
エフエム青森		エフエムアオモリ	青森	80.0MHz	
FM山形		FMヤマガタ	山形	80.4MHz	
ふくしまFM		フクシマFM	郡山	81.8MHz	
NHK-FM		NHK-FM	山形	82.1MHz	
〃		〃	仙台	82.5MHz	
FM秋田		FMアキタ	秋田	82.8MHz	
NHK-FM		NHK-FM	盛岡	83.1MHz	
〃		〃	福島	85.3MHz	
東北海道(AM)	NHK第1	NHKダイ1	盛岡	531kHz	
	〃	〃	山形	540kHz	
	IBC岩手放送	IBCイワテホウソウ	盛岡	684kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	秋田	774kHz	
	NHK第1	NHKダイ1	仙台	891kHz	
	東北(AM)	山形放送	ヤマガタホウソウ	山形	918kHz
		秋田放送	アキタホウソウ	秋田	936kHz
		NHK第1	NHKダイ1	青森	963kHz
		NHK第2	NHKダイ2	仙台	1,089kHz
		青森放送	アオモリホウソウ	青森	1,233kHz
東北放送		トウホクホウソウ	仙台	1,260kHz	

・2000年3月現在の主な放送局と周波数です。

CDの名前や放送局名などを表示させる (つづき)

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
東 北 (FM)	NHK第1	NHKダイ1	福島	1,323kHz
	NHK第2	NHKダイ2	盛岡	1,386kHz
	ラジオ福島	ラジオフクシマ	福島	1,458kHz
	NHK第1	NHKダイ1	秋田	1,503kHz
	NHK第2	NHKダイ2	山形	1,521kHz
	AFN	AFN	三沢	1,575kHz
	NHK第2	NHKダイ2	福島	1,602kHz
関 東 地 方 (FM)	インター FM	インターFM	東京	76.1MHz
	FM 栃木	レディオ・ベリー	宇都宮	76.4MHz
	放送大学	ハウソウダイガク	東京	77.1MHz
	BAY-FM	FM-FM	船橋	78.0MHz
	FM-FUJI	FM-FUJI	三ツ峠	78.6MHz
	放送大学	ハウソウダイガク	前橋	78.8MHz
	NACK 5	NACK 5	浦和	79.5MHz
	TOKYO FM	TOKYO FM	東京	80.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	宇都宮	80.3MHz
	∕	∕	千葉	80.7MHz
J-WAVE	J-WAVE	東京	81.3MHz	
∕	NHK-FM	NHK-FM	前橋	81.6MHz
	∕	∕	横浜	81.9MHz
	∕	∕	東京	82.5MHz
	∕	∕	水戸	83.2MHz
	FMヨコハマ	FMヨコハマ	横浜	84.7MHz
	NHK-FM	NHK-FM	浦和	85.1MHz
FM群馬	FMグンマ	前橋	86.3MHz	
関 東 地 方 (AM)	NHK第1	NHKダイ1	東京	594kHz
	NHK第2	NHKダイ2	∕	693kHz
	AFN	AFN	∕	810kHz
	TBSラジオ	TBSラジオ	∕	954kHz
	文化放送	ブンカハウソウ	∕	1,134kHz
	茨城放送	イバラキハウソウ	水戸	1,197kHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
關 東 地 方 (AM)	ニッポン放送	ニッポンハウソウ	東京	1,242kHz
	ラジオ日本	ラジオニッポン	横浜	1,422kHz
	栃木放送	トチギハウソウ	宇都宮	1,530kHz
中 部 地 方 (FM)	FM福井	FMフクイ	福井	76.1MHz
	FM新潟	FMニイガタ	新潟	77.5MHz
	ZIP FM	ZIP FM	名古屋	77.8MHz
∕	K-MIX	K-MIX	静岡	79.2MHz
	FM長野	FMナガノ	美ヶ原	79.7MHz
	FM石川	FMイシカワ	金沢	80.5MHz
中 部 地 方 (FM)	FM AICHI	FMA	名古屋	80.7MHz
	NHK-FM	NHK-FM	富山	81.5MHz
中 部 地 方 (FM)	∕	∕	金沢	82.2MHz
	∕	∕	新潟	82.3MHz
	∕	∕	名古屋	82.5MHz
	FMとやま	FMトヤマ	富山	82.7MHz
	FM-FUJI	FM-FUJI	坊ヶ峰	83.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	福井	83.4MHz
	∕	∕	岐阜	83.6MHz
∕	∕	長野	84.0MHz	
∕	∕	甲府	85.6MHz	
∕	∕	静岡	88.8MHz	
中 部 地 方 (AM)	NHK第2	NHKダイ2	静岡	639kHz
	NHK第1	NHKダイ1	富山	648kHz
	∕	∕	名古屋	729kHz
	北日本放送	キタニホンハウソウ	富山	738kHz
	YBSラジオ	YBSラジオ	甲府	765kHz
NHK第1	NHKダイ1	長野	819kHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
中部地方(FM)	NHK第1 福井放送	NHKダイ1 フクイハウソウ	新潟 福井	837kHz 864kHz
	NHK第1	NHKダイ1	静岡	882kHz
	NHK第2	NHKダイ2	名古屋	909kHz
	NHK第1	NHKダイ1	福井	927kHz
	∕	∕	甲府	927kHz
	NHK第2	NHKダイ2	富山	1,035kHz
	CBCラジオ	CBCラジオ	名古屋	1,053kHz
	信越放送	シンエツハウソウ	長野	1,098kHz
	北陸放送	ホクリクハウソウ	金沢	1,107kHz
	新潟放送	ニイガタハウソウ	新潟	1,116kHz
	NHK第1	NHKダイ1	金沢	1,224kHz
	東海ラジオ	トウカイラジオ	名古屋	1,332kHz
	NHK第2	NHKダイ2	金沢	1,386kHz
	静岡放送	シズオカハウソウ	静岡	1,404kHz
	岐阜ラジオ	ギフラジオ	岐阜	1,431kHz
	NHK第2	NHKダイ2	長野	1,467kHz
	∕	∕	福井	1,521kHz
	∕	∕	新潟	1,593kHz
∕	∕	甲府	1,602kHz	
近畿地方(FM)	FM CO・CO・LO E-Radio	FM CO・CO・LO E-Radio	生駒山 滋賀	76.5MHz 77.0MHz
	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM KOBE	姫路	77.6MHz
	FM 三重	FM ミエ	津	78.9MHz
	FM 802	FM 802	大阪	80.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	津	81.8MHz
∕	∕	京都	82.8MHz	
∕	∕	大津	84.0MHz	
∕	∕	和歌山	84.7MHz	
FM 大阪	fm osaka	大阪	85.1MHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
近畿地方(AM)	NHK-FM	NHK-FM	神戸	86.5MHz
	∕	∕	奈良	87.4MHz
	∕	∕	大阪	88.1MHz
	FM 京都	α-STATION	大津	89.4MHz
	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM KOBE	神戸	89.9MHz
	AM KOBE	AM KOBE	神戸	558kHz
	NHK第1	NHKダイ1	京都	621kHz
	∕	∕	大阪	666kHz
	NHK第2	NHKダイ2	大阪	828kHz
	ABCラジオ	ABCラジオ	∕	1,008kHz
KBS京都	KBSキョウト	京都	1,143kHz	
MBSラジオ	MBSラジオ	大阪	1,179kHz	
ラジオ大阪	ラジオオオサカ	∕	1,314kHz	
和歌山放送	ワカヤマハウソウ	和歌山	1,431kHz	
中国地方(FM)	岡山エフエム放送	FMオカヤマ	岡山	76.8MHz
	エフエム山陰	エフエムサンイン	松江	77.4MHz
	広島FM	ヒロシマFM	広島	78.2MHz
	FM 山口	FMヤマグチ	山口	79.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	松江	84.5MHz
	∕	∕	山口	85.3MHz
	∕	∕	鳥取	85.8MHz
	エフエム山陰	エフエムサンイン	浜田	86.6MHz
	NHK-FM	NHK-FM	岡山	88.3MHz
	∕	∕	岡山	88.7MHz
中国地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	岡山	603kHz
	∕	∕	山口	675kHz
	NHK第2	NHKダイ2	広島	702kHz
	山口放送	ヤマグチハウソウ	山形	765kHz
	山陰放送	サンインハウソウ	米子	900kHz
	NHK第1	NHKダイ1	下関	1,026kHz

CDの名前や放送局名などを表示させる (つづき)

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
中国地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	広島	1,071kHz
	NHK第2	NHKダイ2	鳥取	1,125kHz
	NHK第1	NHKダイ1	松江	1,296kHz
	中国放送	チュウゴクハウソウ	広島	1,350kHz
	NHK第1	NHKダイ1	鳥取	1,368kHz
中国地方(FM)	NHK第2	NHKダイ2	山口	1,377kHz
	〃	〃	岡山	1,386kHz
	山陽放送	サンヨウハウソウ	岡山	1,494kHz
	AFN	AFN	山口	1,575kHz
	NHK第2	NHKダイ2	松江	1,593kHz
四国地方(FM)	FM香川	FMカガワ	高松	78.6MHz
	FM愛媛	FMエヒメ	高山	79.7MHz
	FM徳島	FMトクシマ	徳島	80.7MHz
	FM高知	FMコウチ	高知	81.6MHz
	NHK-FM	NHK-FM	徳島	83.4MHz
四国地方(AM)	〃	〃	高松	86.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	高知	87.5MHz
	〃	〃	高山	87.7MHz
四国地方(AM)	高知放送	コウチハウソウ	高知	900kHz
	NHK第1	NHKダイ1	徳島	945kHz
	〃	〃	高山	963kHz
	〃	〃	高知	990kHz
	NHK第2	NHKダイ2	高松	1,035kHz
	南海放送	ナンカイハウソウ	高山	1,116kHz
	NHK第2	NHKダイ2	高松	1,152kHz
四国放送	シコクハウソウ	高徳	1,269kHz	
NHK第1	NHKダイ1	高松	1,368kHz	
西日本放送	ニシニホンハウソウ	〃	1,449kHz	
NHK第2	NHKダイ2	松山	1,512kHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数	
九州地方(FM)	Love FM	Love FM	福岡	76.1MHz	
	FM中九州	FMナカキュウシュウ	熊本	77.4MHz	
	FM佐賀	FMサガ	佐賀	77.9MHz	
	CROSS FM	CROSS FM	福岡	78.7MHz	
	SMILE-FM	SMILE-FM	長崎	79.5MHz	
	FM鹿児島	FMカゴシマ	鹿児島	79.8MHz	
	FM福岡	FMフクオカ	福岡	80.7MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	佐賀	81.6MHz	
	FM宮崎	FMミヤザキ	宮崎	83.2MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	長崎	84.5MHz	
九州地方(AM)	〃	〃	福岡	84.8MHz	
	〃	〃	熊本	85.4MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	鹿児島	85.6MHz	
	〃	〃	北九州	85.7MHz	
	〃	〃	佐世保	86.0MHz	
	〃	〃	宮崎	86.2MHz	
	FM大分	FMオオイタ	大分	88.0MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	〃	88.9MHz	
	九州地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	宮崎	540kHz
		〃	〃	鹿児島	576kHz
〃		〃	福岡	612kHz	
NHK第1		NHKダイ1	大分	639kHz	
〃		〃	長崎	684kHz	
〃		〃	熊本	756kHz	
NHK第2		NHKダイ2	熊本	873kHz	
宮崎放送	ミヤザキハウソウ	宮崎	936kHz		
NHK第1	NHKダイ1	佐賀	963kHz		
NHK第2	NHKダイ2	福岡	1,017kHz		
大分放送	オオイタハウソウ	大分	1,098kHz		
南日本放送	ミナミニホンハウソウ	隼人	1,107kHz		
熊本放送	クマモトハウソウ	熊本	1,197kHz		

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
九州地方(AM)	長崎放送	ナガサキホウソウ	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	NHKダイ2	長崎	1,377kHz
	∕	∕	鹿児島	1,386kHz
	KBCラジオ	KBCラジオ	福岡	1,413kHz
	NHK第2	NHKダイ2	大分	1,467kHz
∕	∕	宮崎	1,467kHz	
AFN	AFN	佐世保	1,575kHz	
沖縄(FM)	FM 沖縄	FM オキナワ	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
	AFN-沖縄	FM AFN	∕	89.1MHz
沖縄(AM)	NHK第1	NHKダイ1	沖縄	549kHz
	AFN	AFN	∕	648kHz
	琉球放送	リュウキュウホウソウ	那覇	738kHz
	ラジオ沖縄	ラジオオキナワ	∕	864kHz
	NHK第2	NHKダイ2	∕	1,125kHz

・ 2000年3月現在の主な放送局と周波数です。

名前スクロール表示のモードを変えるには

名前は、ディスク名または曲名に切換えたとき1回スクロール表示されます。スクロール表示のモードは変えることができます。

1 SELを2秒以上押す

・ お買い上げのときは「PSM CLOCK H」が表示されます。

2 (または)を「ポン・ポン」と押して「PSM SCROLL」を選ぶ

3 ジョグダイヤルを回してスクロールのモードを選ぶ



右方向に回したとき



・ 左方向に回すと逆に選べます。

4 SELを押す

・ 元のソース(音源)表示に戻ります。

CDの名前や放送局名などを表示させる(つづき)

文字の入力のしかた(修正・削除)

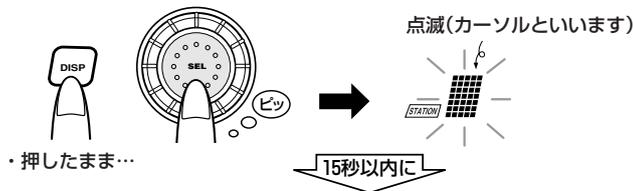
名前を入力したいときは、次の手順で入力します。入力した名前を修正(削除)するときも同じ操作になります。CD/CDチェンジャーは最大32文字(40枚)、ラジオは32局分を最大12文字まで入力できます。

1 ソース(音源)を選ぶ

・CD、CDチェンジャーまたはラジオを選びます。

2 DISPを押したままSELを同時に2秒以上押す

例：ラジオを選んだとき



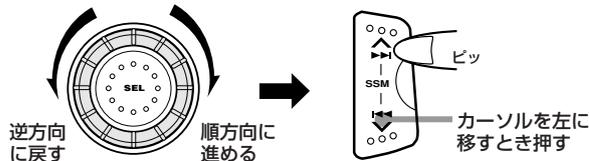
3 DISPで文字の種類を選ぶ



カナ → 英大文字 → 英小文字 → 記号

詳しくは49ページの「文字配列表」参照

4 ジョグダイヤル→△で名前を入力する



①文字を選び…

②カーソルを右に移す。文字が確定します。

・文字を間違えたときは、▽ボタンでカーソルを戻しジョグダイヤルで正しい文字を上書きします。

5 SELを押して確定する



・文字を消したいときは、4の操作のとき空白(スペース)を選び確定します。

・全て空白(スペース)を入力すると、名前を消すことができます。また▽ボタンと△ボタンを同時押ししたときも表示を消すことができます。SELボタンを押して確定すると名前を消すことができます。

〈お知らせ〉

●41枚目のCD名または33局目の放送局名を入力すると、「NAME FULL」が表示されます。使用しない名前は消してください。

文字配列表

ディスク名や放送局名を表示させるには

CDや放送を聞いているときディスク名や放送局名を表示させるときは、DISPボタンを使います。入力した名前が表示されます。



ピッ

・押すことにより変わります。

・CD/CDチェンジャーのとき：

曲番号と演奏経過時間表示



ディスク名 : スクロール表示されます

(DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます)

・ラジオのとき：

バンドと受信周波数表示



放送局名表示

●カナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	
ー	・	ゝ	(空白)						

●英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

●英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

●記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	”	#	\$	%	◎	’	()	*
+	,	—	.	/	:	;	<	=	>
?	@	_	`	(空白)					

〈お知らせ〉

- ・放送局名の中で・(中黒)とα(アルファ)は、入力できません。

正しくお使いいただくために

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型バスなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(フロント/リア45W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨がかかったり、湿気の多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
- ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後、CDやMDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。

(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●背面のファンは、通常は回転しておりません。本機内部の温度が高くなると、自動で回転します。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してMDまたはCDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●外国での使用は…

本機は日本国内用です。外国での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別紙の取付説明書の通りにしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの^{マイナ}側が車の金属部に接続されていたり、^{プラス}側同士が接続されていると故障の原因となります。

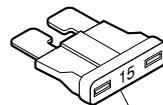
*BTL：Balanced Transformerlessの略

2組でパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



ヒューズ(15A)

保証書とアフターサービス

●保証書の記載内容ご確認と保存について

この製品には、保証書が添付されております。

保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間について

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理致します。

その他詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料にて修理させていただきます。

●補修用性能部品の保有期間について

当社はこのカーステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低6年保有しています。

この期間は通産省の指導によるものです。

●アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げの販売店、または添付の「サービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

1. まずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、再度お調べください。
2. それでも具合の悪いときは、お買い上げの販売店に次のことをお知らせください。

・ JVC MD/CDレシーバー：KW-MD660

・ お名前とおとこ

・ 電話番号

・ 故障の状態(詳しく)：例 CDの演奏音が出ない。

別売りアクセサリ

・ クリーニングキット：CK-25(CD用)

・ MDレンズクリーナー：CL-ML

・ RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)

CN-510E(長さ1m)

CN-520E(長さ2m)

・ 変換コード：KS-U57

こんなときは — 「故障かな?」と思ったら… —

修理を依頼される前に、まず次の項目をお確かめください。

それでも直らないときは故障によることが考えられますので、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。	・ 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作しているため。	・ リセットボタンを押して内蔵のマイコンをリセットする。→10ページ参照 (時計や放送局などのメモリーが取り消され、初期状態に戻ります)
▲(MD取出し)ボタンまたは▲(CD取出し)ボタンを押してもMDまたはCDの取り出しができない。	・ 盗難防止状態になっている。 →10ページ参照	・ MDの場合 MDボタンを押したまま ▲(MD取出し)ボタンを同時に2秒以上押す。 ・ CDの場合 CDボタンを押したまま ▲(CD取出し)ボタンを同時に2秒以上押す。 「EJECT OK」が表示されMDまたはCDの取り出しができます。
CDの演奏が始まらない。	・ CDが裏返しになっている。	・ 文字のある面が上になるように正しく入れる。
	・ 内部のレンズが結露している。	・ 電源を入れたまま約1～2時間待つ。
AM放送がうまく受信できない。	・ オートアンテナのコントロール電流が250mAを超えている。	・ <u>リモート出力</u> コードをオートアンテナに接続するように変更する。
	・ オートアンテナコントロール端子(またはアンテナアンプ電源端子)に <u>オートアンテナ</u> コードが接続されていない。	・ <u>オートアンテナ</u> コードを接続する。

症 状	原 因	処 置
「DISC ERROR」が表示される。	・ MDまたはCDの読み取りでエラーが発生したため。	・ ▲(MD取出し)ボタンまたは▲(CD取出し)ボタンを押したあとMDまたはCDを入れ直す。
「BLANK DISC」が表示されMDが出てくる。	・ 録音していないMDを入れたため。	・ 録音済みのMDと交換する。
「NO CD DISC」または「NO MD DISC」が表示される。	・ CDまたはMDが入っていないときMDボタンまたはCDボタンを押したため。	・ CDまたはMDを入れる。
「NO NAME」が表示される。	・ 名前が登録されていないときDISPボタンを押したため。	・ 名前を登録する。 → 42/48 ページ参照
「HIGH TEMP」が表示される。	・ 本機の内部の温度が異常に高くなっている。	・ FM放送などに切換え、温度が下がるまで待つ。
「NO PRE ADJ.」が表示される。	・ 雑音などの影響でプリセットデータに異常が発生している。	・ お買い上げの販売店または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。
ディスクの出し入れのとき、音が途切れる。	・ ディスクの出し入れのときは、音声にミュートがかけて雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。	

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- 信号読み取り方式：非接触光学式読み取り
(半導体レーザー、 $\lambda = 780\text{nm}$ 使用)
- エラー訂正方式：クロスインターリーブリードソロモンコード
- チャンネル数：2チャンネル
- 周波数特性：5 Hz~20kHz
- ダイナミックレンジ：98dB
- S N 比：99dB
- ワウ・フラッター：測定限界以下

MDプレーヤー部

- 型 式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
- 信号読み取り方式：非接触光学式読み取り
(半導体レーザー、 $\lambda = 780\text{nm}$ 使用)
- サンプリング周波数：44.1kHz
- 音声圧縮方式：ATRAC
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：20Hz~20kHz
- ダイナミックレンジ：88dB
- S N 比：93dB
- ワウ・フラッター：測定限界以下

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクタ×1
オートアンテナコントロール電源コード付
- FMチューナー部
 - 受信周波数：76.0MHz~90.0MHz
 - 実用感度：14.3dBf(1.43 μ V/75 Ω)
- AMチューナー部
 - 受信周波数：522kHz~1,629kHz
 - 実用感度：27dB μ (22.4 μ V)

デジタル シグナル プロセッサ部

- メーカープリセットモード：アリーナ、チャーチ、シアター、ディスコ、ライブ
オペラ、カラオケ
- フォーカス：全席モード/運転席モード/助手席モード/
前席モード

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント/リア 45W+45W(4Ω、1kHz)
- 適合インピーダンス：4Ω(4Ω～8Ωで使用可能)
- 入力端子：DINジャック(8ピン)×1、CDチェンジャー
(またはカーAV機器)接続用1.5V/20kΩ
- 出力端子：RCA端子(2系統)、2.0V/1kΩ
スピーカーコード(2系統、ギボシ型)

電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース車用
- 時刻表示：12時間表示法
- 外形寸法：幅178mm×高さ100mm×奥行163mm
- 質量：約2.5kg(付属品含まず)

付属品

・リモコン(RM-RK36)	1
・電池(CR2025)	1
・接続コード(16ピンコネクター).....	1
・ネジ(M5×6mm)	8
・皿ネジ(M5×6mm)	8
・マウンティングプレート.....	1

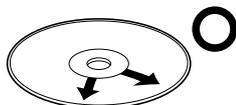
- 本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスニングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

お手入れ

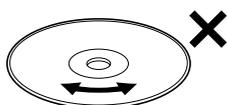
CD(コンパクトディスク)のお手入れ

本機に入れる前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側にふいてください。



必ず内側から外側へ



連続したキズは音飛びの原因になります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

本機の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶき**してください。汚れがひどいときは水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

日本ビクター株式会社

お問い合わせ先

モバイルエレクトロニクス事業部

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1 ☎ダイヤルイン(027)254-8926